

# 「これからのカウンセリングに求められること」

(公開研修会・シンポジウム)

今回の研修会は、「これからのカウンセリングに求められること」をテーマに、乳幼児期から高齢期までの様々な課題について検討する機会を設けました。カウンセリングについての社会的要請は高まっている反面、その実証性についての検討は十分とは言えない状況があります。東京支部会では、Evidence based counseling を基本として、これからのカウンセリングの在り方を考え続けていきたいと思っています。

多くの方々のご参加をお待ちいたします。お誘いあわせの上、是非ご参加下さい。

【日時】2019年2月24日(日) 14:00~16:00

【会場】大東文化会館 板橋区徳丸 2-4-21

(東武東上線 東武練馬駅 徒歩1分)

【プログラム】

[13:30~ 第8回総会 (支部会会員のみ参加)]

〈総会終了後:研修会受付~石巻研修振り返り〉

14:00~16:00 公開研修会・シンポジウム

「これからのカウンセリングに  
求められること」

(研修会は、どなたでも参加できます)

(司会・説明者) 井ノ山 正文 (東京造形大学)

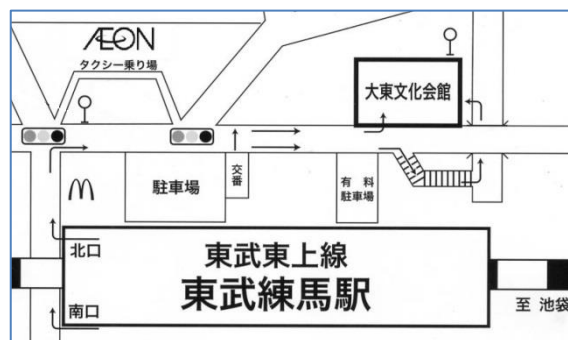
(シンポジスト) 星野 自子 (品川区子ども家庭センター)

糟谷 充子 (電気通信大学)

小川 妙子 (精神保健福祉士)

福井 みどり (ライフ・プランニング・センター)

(指定討論者) 山口 正二 (東京電機大学)



《案内図》

【参加費】 学会東京支部会 会員 無料、非会員 1,000円

【主催・申込み】日本カウンセリング学会 東京支部会 (Eメール) [jacs\\_tokyo@hotmail.co.jp](mailto:jacs_tokyo@hotmail.co.jp)

⇒ 件名に「2月24日・公開研修会に参加希望」と記した上で、  
本文に「氏名/住所/連絡先/所属/支部会会員・非会員の別」を記入し、  
Eメールでお申し込み下さい。(当日参加も可能。事前申込に御協力願います。)

**第8回 総会 案内** \*東京支部会会員は是非ご参加ください\*

日時: 2019年2月24日(日) 13時30分~

場所: 大東文化会館 [シンポジウムの前に実施します]

日本カウンセリング学会 会員の皆様へ《東京支部会 会員募集のお知らせ》

日本カウンセリング学会 東京支部会では、会員を募集しています。公開研修会の開催や、マーケティングリストによる大会・研修会に関する意見交換、ボランティアなどの情報発信、他を行う予定です。私たちの活動に参加し、カウンセラーとしての実践を有意義なものにしていきませんか。

東京支部会への入会希望者は、

- ①下記の口座に入会金1,000円をお振込み(氏名・連絡先・メールアドレスを明記)の上、
- ②東京支部会のEメールまでご連絡ください。後日、必要な連絡を差し上げます。

①ゆうちょ銀行 口座番号: 00180-7-338443

加入者名: 日本カウンセリング学会東京支部

②東京支部会のEメール: [jacs\\_tokyo@hotmail.co.jp](mailto:jacs_tokyo@hotmail.co.jp)

※ 申込手続後に連絡の無い方は、東京支部会のEメールに再度ご連絡ください

申込先・他連絡先(東京支部会) [jacs\\_tokyo@hotmail.co.jp](mailto:jacs_tokyo@hotmail.co.jp)

# 「これからのカウンセリングに求められること」

## シンポジスト「提案内容」および〈プロフィール〉

### ①「子育て支援におけるカウンセリングの再確認」 星野 自子 先生

この10年で子育て支援の相談内容はかなり変わっている。いわゆる子育て相談から背景に発達障がい、DV、保護者の精神疾患がある重篤なケースが増えている。見立てを誤ると支援を誤ることになる。1人を支援するのに様々な機関との連携が必要となるケースも増えている。また、相手の気持ちを無視した支援は全く意味がない。相手のニーズを聴くこと、連携先のそれぞれの見立てに耳を傾けること、そしてこちらの見立てをきちんと伝える力が必要となる。伝える力、聴く力…。今、カウンセリングマインドを再確認して支援に活かさなければと思う。

#### 〈星野自子先生プロフィール〉

都内小中学校でスクールカウンセラー10年、現在は都内小学校特別支援教室の巡回相談心理士で4年目。同時に都内子ども家庭支援センターで相談員10年。

(臨床発達心理士、日本カウンセリング学会 認定カウンセラー、ガイダンスカウンセラー)

### ②「キャリア教育におけるカウンセリングの役割」 糟谷 充子 先生

文部科学省はキャリア教育を「社会的・職業的自立に向け必要な基盤となる能力や態度を育成し、キャリア発達を促す教育」としている。学生が自己について考え理解することは自立のための礎である。しかし、自己を理解しそれを言語化して相手に伝えることを苦手としている学生はとても多い。面談に際して、多くの質問を投げかけることが学生の自己理解を深めるためにとっても有益であると実感している。学生が自己を「語る」ことのできる身近な機会として、カウンセリングがキャリア教育において担う役割を考えたい。

#### 〈糟谷充子先生プロフィール〉

日本企業および外資系企業日本法人の、主として管理部門に30年以上勤務した後、2015年から理系単科大学のキャリア教育部会インターンシップ推進室に所属し、学生のインターンシップ参加への支援を行っている。

(キャリアコンサルタント、産業カウンセラー、日本カウンセリング学会 認定カウンセラー)

### ③「産業分野におけるカウンセリングの活用と課題」 小川 妙子 先生

メンタル不調者増加のための職場のメンタルヘルス対策の一環として産業分野にもカウンセリングが導入されて久しい。EAPの利用促進や国によるストレスチェック制度の導入など様々な取り組みが行われてきて、今、働き方改革も話題となっている。社会の変化の中でカウンセリングが扱うテーマも少しずつ変わってきている。外部資源として様々な組織に関わってきた中で感じているカウンセリング活用の変遷と今後の課題について考えてみたい。

#### 〈小川妙子先生プロフィール〉

民間相談機関の業務委託契約およびフリーランスのカウンセラー・研修講師。

(精神保健福祉士、2級キャリアコンサルティング技能士、産業カウンセラー、日本カウンセリング学会 認定スーパーバイザー)

### ④「超高齢化社会におけるカウンセラーの役割」 福井 みどり 先生

超高齢化社会を迎えている今、高齢者に求められていることは、ただ長生きをするのではなく、より良い健康状態で質の高い健康寿命をどう生きていくかが求められています。それには高齢者の身近に起きるさまざまな身体的・社会的・心理的「喪失」をどのように受け止め、向き合い、より良く生きていくかが課題となります。それらの課題に一人で向き合うことは難しく、町の保健室や認知症カフェ、お互い様コミュニティなど、お互いに支え合い、知恵や技術を活かした試みがあちこちで見られるようになりました。1999年に日野原重明が立ち上げた「新老人の会」の活動を通してカウンセラーは高齢者がよりよく生きるためのコーディネーターとしての役割を地域で担って行くことを提案したい。

#### 〈福井みどり先生プロフィール〉

一般財団法人ライフ・プランニング・センター 臨床心理ファミリー相談室 カウンセラー および 健康教育サービスセンター 副所長。

(看護師、日本カウンセリング学会 認定スーパーバイザー、教育学修士)